

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月25日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	国の定める基準以上の広さを確保しています。三蜜を避け、療育、余暇、機能訓練と、活動スペースを分けて活動しております。	
	2 職員の配置数は適切である	8	0	国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0	室内はバリアフリー化されており、安全に移動できる状態となっています。トイレに段差があり、必要に応じて職員が付き添っています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月2回リフレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	今年度も保護者様へのアンケートを実施させて頂きました。保護者様の評価やご意向等を踏まえ業務改善に取り組みまいります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	契約時、またモニタリング毎に適切にアセスメントを実施し、保護者様の意向や児童のニーズに照らした支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	計画作成時には法人で作成した標準化されたアセスメントツールを適切に使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	療育の中で生まれた課題やアイデアを職員全員で話し合い、活動プログラムに取り入れ、立案しております。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	集団での機能訓練や買い物学習などプログラムが固定化しないよう取り組んでおります。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	平日は主に個々に合った学習支援をおこない、休日や長期休暇には平日には少なかりがちな集団での関わりや買い物学習などに取り組んでおります。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	特性や状況に応じて個別での療育や集団での機能訓練などを組み合わせ計画の作成をしております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	毎日の引継ぎで前日の振り返りや、その日の支援内容や役割について確認をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	支援終了後には、勤務時間の関係で職員全員では難しいですが、その日に伝えなければならないことは打合せをおこない、情報共有しています。また参加できなかった職員には、必ず翌日には連絡するようにしております。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	日々療育内容を記録し、職員間で見直すことで検証・改善に取り組んでおります。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	定期的にモニタリングを実施し、状況や課題を踏まえ計画の見直しの判断をしています。半年以内にモニタリングを実施し、状況や課題を踏まえ計画の見直しの判断をしています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	0	ガイドラインに沿って適切な項目を選択し、支援計画を作成しています。		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	主に児童の状況に精通した児童発達支援管理責任者と機能訓練の分野で精通している専門職員（PT）とで参画するようしております。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	0	保護者様より行事予定や下校時刻をお聞きした上で、学校とも連携を図り、送迎時の対応等連絡調整等をおこなっております。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	4	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解に努めている	8	0	就学へ向けて関係機関との担当者会議等において情報共有や相互理解に努めております。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	学校を卒業された児童の移行時、担当者会議等において情報提供・共有をおこなっております。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	担当者会議等に参加し、児童の併用事業所や相談支援専門員等から助言をいただいております。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8	新型コロナウイルス感染拡大防止のためおこなっていません。	コロナウイルス収束後、交流や活動の場を検討してまいります。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	7	コロナ禍でもあり、現時点での参加機会はありませんでした。	コロナウイルス収束後は積極的に研修や会議等に参加してまいります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡帳の記入や送迎時には、様子を細かくお伝えし、共通理解を図っております。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	0	保護者様の子育てのお悩み等には、職員間でお話し合い、適切な助言をさせていただき、ご家庭でも取り組めるように、分かりやすくお伝えしています。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時と再度モニタリング時に丁寧な説明を心がけております。また変更があれば、その都度お伝えしております。	
	31 保護者からの子育てのお悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	お悩み等には、丁寧にお話を伺い、職員間で話し合いを持ち、適切な助言や支援をおこなえるように努めております。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	新型コロナウイルスの流行、感染拡大防止のため事業所が企画する交流や活動の機会を設けることはできませんでした。	コロナウイルス収束後は参観週間等を企画し、保護者様同士が交流できるような機会をつくってまいります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	苦情窓口を設置しており、迅速かつ適切に対応できるよう体制を整えております。また、契約時やモニタリング毎に、体制について再度丁寧な説明にも努めております。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	公式Webサイトでのブログで活動の様子をお伝えしたり、お便りで行事予定等をお伝えしております。	
	35 個人情報に十分注意している	8	0	個人情報の記載された書類等は鍵付書庫で保管しております。また、写真等の掲載も保護者様に事前に確認をさせていただき適切に対応しております。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	児童には、特性に合わせて視覚支援を取り入れる等、分かりやすい方法や言葉掛けを心がけております。また、保護者様には専門用語は使用せず、分かりやすい言葉でお伝えするようしております。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	コロナ禍で事業所の行事に地域住民を招待するようなイベントは企画できていませんが、コロナ収束後にはイベントの検討をしております。	保護者様によっては通所を公にしたい方もおられるので、十分な配慮のもと企画を検討してまいります。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	各種マニュアルはいつでもご覧いただけるよう玄関に掲示しています。またマニュアル毎にマニュアルの説明をおこなっております。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	年間計画をもとに定期的に避難訓練の実施をおこなっております。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	事業所内で研修をおこない虐待防止マニュアルに沿って対応しております。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	職員間で十分に話し合い児童や保護者様に事前に説明をおこない、承諾を得て計画に記載するようしております。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	アセスメントでアレルギーの有無を確認し、職員間で把握に努め、周知し、おやつ等に配慮しております。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	報告書を作成し職員全員で再発防止に努め、周知徹底しております。	